



# 白聖はくあ 第2号 令和6年4月26日発行



## 【あなたが目指す学校生活とは】

新年度がスタートしてから一ヶ月が過ぎようとしていますが、振り返ってみてどうでしたか。慣れない新生活への戸惑いがありながらも、それ以上に時間の流れを早く感じた人も多かったかもしれません。高校3年間は長いようで短いものです。自らの進路目標の実現を可能にするかどうかは、皆さんがいかに主体的・積極的に自分の高校生活・自分だけの高校物語を創り上げていこうとする姿勢にかかっています。自分自身で明確な目標を掲げ、実現させるための努力を続けていきましょう。青森高校で、堂々と逞しく学校生活を送ってくれることを願っています。

## 《1年生》

まずは基本的な生活習慣、生活のリズムを徐々に「高校生仕様」へとモデルチェンジすることです。学校生活においては、服装、礼儀、挨拶、提出期限や時間を守るといった当たり前のことをしっかりやれる人になりましょう。自分の価値観で物事を判断するのではなく、立場や状況をわきまえて行動することが大切です。こうした姿勢が土台となっはじめて「学習習慣」が確立されます。〈予習〉⇒〈授業〉⇒〈復習〉の学習サイクルで地道に勉強して基礎学力の定着を徹底していきましょう。

## 《2年生》

文理に分かれ、それぞれ地歴・理科の学習が本格化します。難度・進度ともにアップします。うかうかしていると積み残しの消化に追われ、遅れを取り戻すだけで精いっぱい的一年になってしまいます。自己分析、時間管理、集中力が今まで以上に大切になります。また、課外セミナー・職業体験・検定試験は、2年生のうちに積極的に参加、受験してください。その経歴は進学・就職の際提出する「調査書」に記載されます。3年生になってから慌てても「チャンス」も「時間」も極めて少なく苦勞することになります。余裕のある今だからこそ、計画性をもって後悔のない実り豊かな一年を送りましょう。

## 《3年生》

いよいよ勝負の年です。大学入試はまさに体力勝負で、高校総体まではいかに文武両道を維持できるかがカギを握ります。限られた一日の中で隙間時間を有効に使い、学習時間を捻出していくことで忍耐力を身につけ、引退後はそのエネルギーを受験勉強に全力で注いでいくことになります。また、学校推薦型選抜・総合型選抜・一般選抜の受験方式の違いや、国公立大、私立大それぞれの受験内容について情報を集めることも必至です。早めに受験計画を立てることが勉強の進め方に大きくかわるので、見通し・戦略をもって臨むことが必須です。栄冠めざして共に頑張り抜きましょう。

## 【演習室を利用しよう】

2階にある演習室3は、自習室として昼休みや放課後に開放されています。主要国公立大学・私立大学の「赤本」や「受験報告書」「大学パンフレット」「東北大学AO入試過去問題」など、進路・受験のために参考となる資料がそろっています。その場で閲覧することが原則ですので、個人で家に持ち帰ることは禁止です。しかし一時持ち出しは可能になっていますので、生徒昇降口前にある生徒用コピー機でコピーをしたらすぐ所定の位置に返却して下さい。

3年生のみならず、1・2年生も利用することができますので、遠慮せずに活用してください。ここに置いていないものについては、進路指導部に来て「〇〇はありますか？」と尋ねてください。喜んで対応します！



### ◆注意！◆

演習室は資料閲覧・自学自習のための空間です。昼休み・放課後といえども飲食は禁止です。「学びたい人による学びたい人のための空間」にしていきましょう。

## 【進路資料を活用しよう】

今月末に令和6年度『進路資料』が刊行されました。既に全校生徒の皆さんに配布されていますので、目を通した人も多いのではないのでしょうか。

この『進路資料』は、この春に卒業した74回生の進路状況をはじめとして、最近5年間の入試結果が詳細に掲載されています。他にも主な国公立大学の過去25年間にわたる合格状況の推移、最近3年間の大学入試共通テストの自己採点結果など、他では知ることができない青高の進路情報が満載となっています。

また、受験結果だけでなく大学受験のしくみについても詳しく解説しており、出願大学決定までの流れや、一般選抜はもちろん学校推薦型選抜（指定校推薦を含む）や総合型選抜といった受験方式の違いを理解するために役立つものになっています。

さらに後半の「合格体験記」には、大学合格を勝ち取った先輩たちの努力の軌跡が記されています。「合格体験記」を読んでも一人ひとりの弛まぬ努力と強い精神力、そして先生方との厚い信頼関係など、どの生徒も全力で高校3年間を駆け抜けた様子が読み取れて感動を覚えます。きっと読み終えた後には皆さんにもやる気みなぎってくる内容になっていますので、勉強の休憩がてら定期的に読むことをオススメします。

大学入試は、毎年のように変化しており、数年前の情報がまったく通用しないほど目まぐるしく多様化しています。常に正しい情報を把握しておくことも、進路目標の達成には必要不可欠なものです。生徒の皆さんはもちろんですが、保護者の方にも『進路資料』をしっかりと熟読していただき、今後の学習や進路決定に役立たせてほしいと思います。



## 【第1回進路志望調査を振り返って】

4月上旬に第1回進路志望調査が2・3年生を対象に実施されましたので、結果を簡単に振り返ります。

まず3年生は、前回調査（2年1月）との比較から進路目標もほぼ定まっているように見えます。東京大や東北大等の難関大志望者は大きな変化はありません。変化が目立つのは筑波大や千葉大、横浜国立大等の関東圏の国立大が減少し、早稲田大や慶應義塾等の有名私大と地元の弘前大の志望者が増加している点です。現時点では、全体的にまだ実力と志望大との差が大きい人も少なくないと感じますが、本気で受験を考えているのであれば、とにかく今は勉強に励むべきです。6月にはマーク模試や前期中間考査、7月は記述模試があります。短期の数値目標を必ず定め、他人が見て評価できるような成果を上げてほしいです。毎年受験生を見ていると「現役生は受験当日まで伸びる」という言葉を実感します。本番まで諦めず挑戦し続ける気持ちを大切にしましょう。

次に2年生ですが、前回調査から東北大や北海道大等の難関大志望者が大幅に減少し、筑波大や千葉大等の関東圏の国立大へ流れています。例年の2年生と比べても全体的に遠慮がちと感じられる結果でした。しかし文理別の学習はまだ始まったばかりで、これからの努力次第で状況はいくらでも変えることができます。たとえ現在の成績が振るわなかったとしても、そのままの成績で受験をするわけではないはずです。残された時間の使い方次第で人生の可能性は大きく向上します。これから本格的に進路研究に取り組み、オープンキャンパス等に参加して情報を集めることで、自分が本当に目指すべき大学が見えてくるかもしれません。大学選択は人生の選択でもあります。安易な妥協をせずにとことん拘ってください。

最後に1年生ですが、5月の連休明けに最初の調査を行います。高校に入学したばかりなので、進路をあまり深く考えずに臨む人がいるかもしれません。しかし自分で定めた目標でなければ、責任をもって全力で達成に向けて取り組むことはできないと考えます。きちんと自分の意志で志望校を書けるように、この連休を活用して『進路資料』や各大学のホームページで調べて、大学・学部・学科の特徴について学んでほしいと思います。